

オンライン・公開セミナー実施報告 開催日 2022年7月15日(東京本部配信)

仕事と育児の両立研修

～子育てしながら生き生きと働くために～

当財団では、女性に限らず育児中のすべての働く人々が生き生きと活躍していただくための「仕事と育児の両立研修」を実施しています。

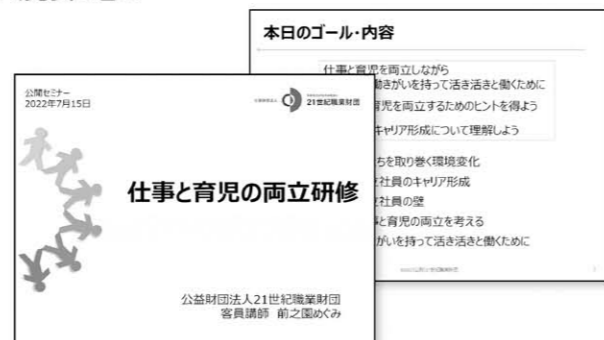
この日の研修には各地から、様々な業種で育児をしながら働く男女8名の方々にご参加いただきました。

働き方や生活スタイルが多様化する昨今の社会環境を踏まえつつ、自律的なキャリア形成、アンコンシャスバイアスへの気づきやコミュニケーションの重要性等について、講義やワーク、グループディスカッションを織り交ぜながら学んでいただきました。

グループディスカッションやランチタイムなど参加者同士の交流を通じて、育児と両立しながら働く上での悩みを共有することで、気づきやヒントを得られる機会にもなったようです。



前之園めぐみ講師



参加者の声

- ディスカッションで自分のケースを話すことで気持ちの整理ができました。両立に困難さを感じていましたが、他の人も同じように悩み苦しんでいると聞いて少し安心できました。
- キャリアについて「多様化する働き方の中で自分を軸に考える」との(講師の)話を聞いて、前向きに考えることができました。
- 自分自身の働き方を考え直すことができました。今の時代の価値観を持っているつもりでしたが、自分の中にアンコンシャスバイアスがあることに気づけたことが大きな発見のひとつでした。
- グループワークや発言を求められる機会が多くあり、緊張感を持って参加できました。他の参加者の意見をたくさん聞くことができたのもよかったです。
- 育児のことを語り合う場に男性の自分が参加する機会はほぼないので、育児をしながら仕事をされている方の生の声を聞いたことは大変参考と刺激になりました。
- 両立のために工夫していることとして、自分は定時で帰れるよう次の日でもいい仕事は次の日にしていましたが、女性の方たちは突然休まなければならないことがあるため、なるべく仕事を残さないようにしていました。女性側の意見もたくさん聞け、今後の両立のための参考になりました。

受講者募集中です!

育児をしながら働いている皆様、ジレンマや不安な気持ちを吹き飛ばしてみませんか。皆様のご参加を心よりお待ちしております!

次回開催：2023年1月24日(火) 10:00～15:00 オンライン (Web会議システムZoom使用)

詳細・お申込み <https://www.jiwe.or.jp/seminar/open/work-life-balance>

* twitterにて情報発信中 *



@jiwe_diversity

当財団の講師は時勢に応じた情報を常に取り入れ、スキルアップに努めています!

当財団では、毎年、登録講師のスキルアップを目的とした講師研修会を実施しています。今年度はオンデマンド配信による研修会を実施いたしました。

研修テーマの1つ目は「子どものいるミレニアル世代夫婦のキャリア意識に関する調査から」と題し、本調査に携わった当財団 上席主任・主任研究員の山谷真名より調査の概要とともに、財団が実施する研修プログラムにおいて、調査結果をどのように組み込んでいく等について、社会的状況や職場環境なども交えながら解説いたしました。

研修テーマの2つ目は、今年2月に厚生労働省で作成・発行された「カスタマー・ハラスメント対策企業マニュアル」について、厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課ハラスメント防止対策室室長の中込左和氏にご講義いただきました。顧客等からの暴行、脅迫、ひどい暴言、不当な要求等の著しい迷惑行為、いわゆるカスタマー・ハラスメント(カスハラ)による被害を防止することは令和2年に策定された労働施策総合推進法に基づく指針に事業主が行う望ましい取り組みとして定められています。カスハラへの対策の強化が重要な取り組みであると同時に急務であり、マニュアル内容の理解はもとより、研修、セミナーを通じ、多くの企業にカスハラへの対策・取り組みを進めていただきたいと思います。

財団・登録講師は、今後も企業のニーズに応じた満足度の高い研修をご提供するべく、知識の習得と研鑽に努めてまいります。



研修テーマ1(当財団主任研究員・山谷真名)



研修テーマ2(厚生労働省ハラスメント防止対策室室長・中込左和氏)

オーダーメイド研修のご案内 <https://www.jiwe.or.jp/seminar/order>

「ダイバーシティ推進」「ハラスメントのない職場づくり」についてオーダーメイドの企業内研修を承ります。

研修の特色

- 課題にフォーカス…………… 貴社のご要望・課題解決に向けた最適な研修をご提案
- 豊富な講師陣…………… 研修内容により、企業役員経験者や臨床心理士、弁護士、大学教員等も派遣
- 長年の実績…………… 当財団が蓄積した事例や調査研究を駆使した内容
- オリジナル教材…………… 対象者や研修レベルに合わせた教材の提供
- 講義型やワークも…………… 講義型にグループディスカッションやケーススタディを組合せ
- 多彩な研修スタイル…………… 対面形式の他、オンラインやオンデマンド配信などにも対応可能

編集後記

本誌「DIVERSITY21」は、おかげさまで今回50号の発行を迎えました。当財団としてはあくまで通過点とのスタンスで、「記念特集号」のような形式はとりませんでしたが、そうは言いつつも4回の発行ですので13年継続しないと到達しない水準はあります。この場をお借りし、賛助会員の皆様、当財団事業ご利用者の皆様、ご支援いただいている皆様、歴代の財団関係者等すべての皆様に心より御礼申し上げます。今後も当財団の理念「あらゆる人がその能力を十分に発揮しながら、健やかに働ける環境を実現する」に基づき、皆様のご期待にお応えできるコンテンツを提供し続けられるよう努力してまいります。①

ダイバーシティ 21
DIVERSITY 21 vol.050

2022年9月25日発行

編集・発行

公益財団法人 21世紀職業財団
〒113-0033
東京都文京区本郷1-33-13 春日町ビル3階
TEL 03-5844-1660(代) FAX 03-5844-1670
<https://www.jiwe.or.jp>